

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年8月10日（木）

### 2 確認箇所

- ・ H6（I）雨水回収タンク（1基）
- ・ J2、J3雨水回収タンク（2基）
- ・ J6-1～6雨水回収タンク（6基）

### 3 確認項目

雨水回収タンクの状況

### 4 確認結果の概要

タンクエリアの堰内に溜まった雨水は、雨水回収タンクに回収され放射能分析を行い、散水基準を満たしていることを確認した後に発電所構内に散水されている。

今回は一時的に雨水を貯めている雨水回収タンクや付属するポンプ等の設備の状況を確認した。（図1）なお、前回確認日は以下のとおり。

H6（I）タンクエリア：令和元年7月1日

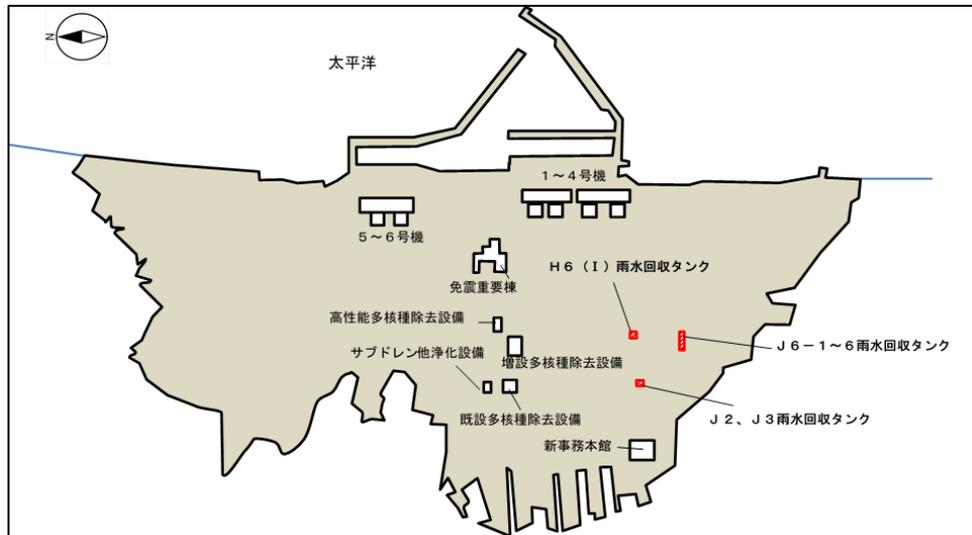
J2、J3雨水回収タンク：令和3年12月22日

J6-1～6雨水回収タンク：令和4年1月5日

- ・ H6（I）雨水回収タンクは溶接型タンクであり、H6（I）タンクエリアの堰内、北西端に位置している。堰の内部には散水のためのポンプ（散水ポンプ）が設置されていた。また、放射能分析の結果、基準を満たさなかった場合に、雨水をRO設備まで移送するためのポンプが堰の外部の小屋に設置されていた。（写真1）
- ・ J2、J3雨水回収タンクは溶接型タンクであり、他の多核種除去設備処理水等が入ったタンクの堰とは別の堰内にあった。H6（I）タンクと同様、堰内に散水ポンプ、堰の外の小屋の中に移送ポンプが設置されていた。（写真2）
- ・ J2、J3雨水回収タンクでは、令和3年5月にシートパスによってタンク水位が下がった事例を受けて、散水払出弁が二重化されていた。（写真3）
- ・ J6-1～6雨水回収タンクはフランジ型タンクであり、他のタンクエリアとは異なり鋼製の堰で囲われていた。接続された配管の一部には「雨水移送設備（運用休止中）」、「配管内水抜き済み」などの表示がされており、設備は使われていない様子だった。また、堰外の小屋には移送ポンプが設置されていた。（写真4）東京電力に確認したところ、雨水設備の

うち J 6 - 1 ~ 6 雨水回収タンクを含む全 19 基のフランジ型タンクは使っていないとのことだった。

- いずれのタンク本体、堰、配管等に異常は見られなかった。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)

H 6 (I) 雨水回収タンク外観 (北側から撮影)



(写真 1 - 2)

H 6 (I) 雨水回収タンクの散水ポンプ



(写真1-3)

H6 (I) 雨水回収タンクの移送ポンプ



(写真2-1)

J2、J3 雨水回収タンク外観 (北東側から撮影)



(写真2-2)

J2、J3 雨水回収タンクの散水ポンプ



(写真2-3)

J2、J3 雨水回収タンクの移送ポンプ



(写真 3 - 1)  
J 2 雨水回収タンク 散水払出弁の状  
況 (前回 (令和 3 年 12 月 22 日) 撮  
影)



(写真 3 - 2)  
J 2 雨水回収タンク 散水払出弁の状  
況 (今回 (令和 5 年 8 月 10 日) 撮  
影)



(写真 4 - 1)  
J 6 - 1 雨水回収タンク 外観 (南側  
から撮影)



(写真 4 - 2)  
J 6 - 2 ~ 6 雨水回収タンク 外観  
(東側から撮影)



(写真 4 - 3)  
J 6 - 1 雨水回収タンク 付近配管に  
おける運用休止中の標示

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。